

新潟県

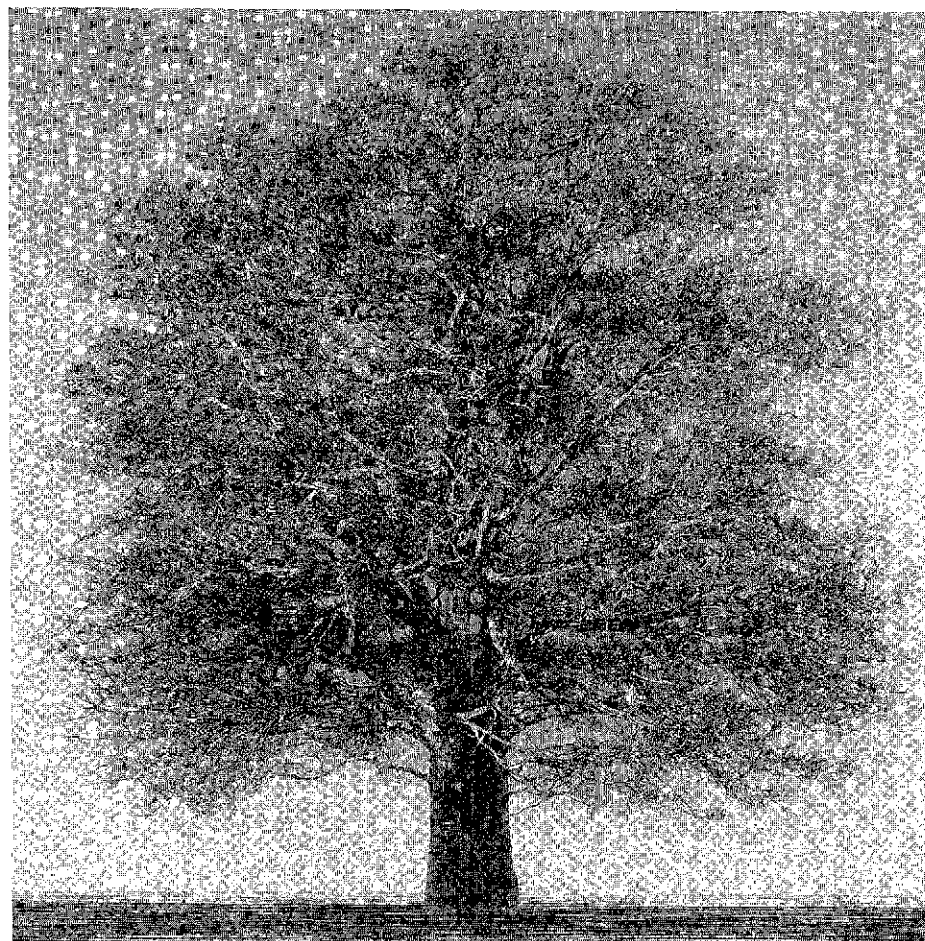
平成元年

公民館月報

3月
第433号

特集 続 公運審活性化のすすめ

— 関プロ公研集会分科会報告 —



星 襄一 「大樹」

1974年制作
64.0×64.0cm
木版・紙
新潟県美術博物館蔵

星 襄一(1913~1979)は北魚沼郡小出町出身。木版で樹木を精細に表現する作家として国内外に知られている。晩年の10年余り「樹」を題に、自然と人間への郷愁を画面に描き出している。

第 4 回理事会開催

平成元年度事業を検討

二本柱は従来どおり

第一回評議員会は四月二十五日(火)に

二月二十一日(火)午後一時半から新潟市中央公民館会議室で昭和六十三年度最後(第四回)の理事会が開催された。

二月二十一日(火)の会務の実施報告・決算見込みならびに来年度の事業計画、予算案の立案にあつた。

来年度の予算見直しは、特別事業分担金の減収に加えて、消費税の実施による予期しない支出増などで厳しい予算編成であるが、自助努力により、



問題山積の理事会

県公民館大会・公民館月報の刊行・公民館職員研修の三つの事業を中核として、今年度と同じ規模の事業を実施していくと考えてある。

なお、新年度の第一回評議員会は四月二十五日(火)午後一時開催の予定である。

今年一年を振り返ると、生涯学習元年を迎え、県公連をはじめ、地区公連、郡市公連でも多かれ少なかれ「生涯学習に対応した公民館のあり方」を課題としてきた。そして、その課題を追究すればするほど問題が生じて

いるのも事実である。

平成元年度はこれらの問題を整理し、個々の公民館がそれぞれの市町村において、生涯学習推進にかかわるステータスの確保に役立つ事業をすすめる。その願いをこめて次の二本柱を軸として事業を展開する。

一、「第四〇回県公民館大会」はすでに事業は承認を得ているとおり、長岡市立劇場を会場に開催する。参加費は、従前のとおり千七百円のまま据えおくも

第3回関プロ公連理事会

第30回集会の骨子決まる

九月六日〜七日水戸市で

二月十六日(木)、関東甲信越静公民館連絡協議会理事会在、東京虎の門の国立教育会館において開催された。

主要協議題は、第29回関東プロック公民館研究会(浜松大会)の収支決算報告ならびに関東プロック方式の研究会を、全国の他のプロック集会では得られない充実した研究会とし

の。主管の長岡市中央公民館では目下着々と準備を進め、パネル発表者の人選を済ませ、また、記念講演の講師の内諾も得ている。ちなみに講演講師は、NHK解説委員の出畑彦衛門氏で「今、世界の中の日本」という演題が予定されている。

二、「県公民館月報」は現行の頒佈のまま、より一層の紙面充実に努力する予定。編集面の工夫は、別掲の編集専門委員会の報告を参照されたい。

三、「公民館職員研修」は、主催事業として三年目を迎えるもので、ようやく軌道に乗ってきたものである。県下の関係者の期待にこたえて継続実施していく予定である。内容については別掲の研修専門委員会の報告を参照されたい。

二月十六日(木)、関東甲信越静公民館連絡協議会理事会在、東京虎の門の国立教育会館において開催された。

続いて、来年度開催予定の第30回公民館研究会(主管は茨城県公連)の骨子が公表され、基本的に了解された。それによると、期日は9月6日〜7日、会場は茨城県水戸市。

参加費は一万一千円になる模様である。

地域住民への思いやりと

あたたかいコミュニケーション

公民館
自治館

総合補償制度

加入受付中

取扱店 安田火災海上保険(株)新潟支店 TEL.(025)225-1812

第三回編集委員会を開催

自己PRに期待

本紙編集の問題点を協議

去る一月三十一日、第三回編集委員会を新潟市中央公民館会議室で開催した。全委員出席のもとで、来年度の本紙の編集内容ならびにその問題点解決について協議された。

トとして、あるいは、実務上の虎の巻として活用できるものとするのが提言された。その主要点は次のとおりである。

- 一、生涯学習体系への移行が、今や市町村の教育行政の課題となりつつある。この時点での公民館の役割・機能を明確にすることが当業者の最も望んでいる
- 二、公民館事業の紹介欄は、平面的な紹介に止まらないで、展開の詳しい、企画・実践段階での問題点を取り上げるなど身近な生き生きとした内容にする。
- 三、ネットワーク欄は、そのネーミングのとおり各地区公連の動きの紹介はもとより、各公民館・職員等の情報交換の場にする。

考えます。

辛 口

昭和二十年、もたない初期の「公民館運動」時代から、法制化や、町村合併・高度経済成長・地域開発など社会変貌の中で、幾度か「公民館の曲り角」に出合い、苦悩し乗り越えてきています。

「公民館の設置運営について」一文、部次官通牒（いわゆる寺中構想）が出版されて、満四十二年になります。

先輩の反省と「ことば」

中野 滋

この歩みの中で社会教育・公民館の反省は、いつも次の三点であったと思います。

①社会教育（今は生涯学習）の必要性をどれだけ育て得たか。

②住民の主体性をどれ

ことであるから、シリーズとしてこの課題に取り組むことにしたい。それも、理論とともに実践を具体的に、でき得れば先進公民館の実践を紹介するなど分かりやすいものにする。

二、公民館事業の紹介欄は、平面的な紹介に止まらないで、展開の詳しい、企画・実践段階での問題点を取り上げるなど身近な生き生きとした内容にする。

三、ネットワーク欄は、そのネーミングのとおり各地区公連の動きの紹介はもとより、各公民館・職員等の情報交換の場にする。

第三回研修専門委員会

テーマを選択制に

来年度の研修内容を検討

一月十日、今年度第三回の研修専門委員会が開催され、来年度の研修のテーマ・方法などについて検討された。

昭和六十二年度から実施されてきた当公連主催の「公民館職員研修」は、そのテーマを学級講座等の学習プログラムの立案に関する理論と実践を研修するもので、演習を多く採用したユニークなもので極めて好評を博してきた。

関係者の積極的な情報提供以外にはないと結論づけられた。このことから編集部では、「沈黙は金」の美德から脱皮して積極的な自己PRを期待している。

この研修内容の設定は、昭和六十一年六月に、当県公連と新潟大学社会教育研究室（吉川弘教授担当）の共催で実施した「公民館職員の専門性調査」の結果に基づいたものである。

来年度第三回の研修を実施するにあたり、今年度の受講者の要望・意見を求めたところ、公民館現場の即戦力としたいため、研修テーマを単一にしないでは

しいという要望が強かった。このため、テーマを可能な限り広げ、選択制にすることが話しあわれた。第一原則は受講者が自分からテーマを持って参加するものではあるが、それを無制限に受け入れるわけにはいかないで、予想されるテーマを設定し、その一つに参加することになろう。

細案は、次年度に作成されることになるが、例えば次のような方式にしたい意向である。

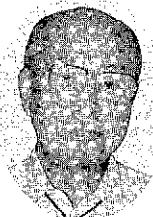


公民館の先達は、「看板公民館」「青空公民館」と言われた施設を

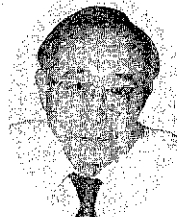
- ①「出かける公民館」
- 「貸館の傾向と、地域住民との接触のうすれを反省して。」
- ……と職員に活を与えた言葉でした。
- （新発田市 社会教育委員）

よく見たね車こないね渡れるね

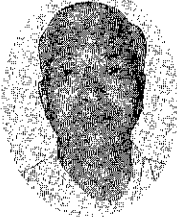
(新潟県・市町村交通安全対策協議会)



発表者 長井武雄氏 (小須戸町公運審委員)



司会者 松田 勅 氏 (荒川町公民館長)



助言者 田村達夫氏 (前十日町市公民館長)

活性化のすすめ

集会分科会報告

生涯学習の中核施設として、公民館がその真価を問われている今日、公民館運営審議会もまた極めて重要な位置にある。それにもかかわらず近年形骸化を指摘される公運審も決して少なくない。このまま推移することは公民館そのものの存在価値にも支障を生ずることになりかねない。

そこで、今年度の関東甲信越静公民館研究会における公運審部会(町村部)の協議内容を取り上げ、あらためて考えてみたい。これは、当公民館月報の昨年八月号で小須戸町公運審副委員長長井武雄氏が発表した要旨に続く、部会協議の概要を紹介したものである。

部会出席者はほぼ八十人。一都十県から公運審委員や公民館長が主として参加していた。松田勅氏の素晴らしい司会のもとに極めて活発な意見の交換がなされた。

はじめに、小須戸町の発表についての質疑応答がなされ、続いて協議に移ったが、松田氏のテキパキとした発言者の整理と問題点の当を得た指摘によって内容は想像以上に深められた。

質疑応答の概略

(○は質問、小は小須戸)

○ 公運審の委員と社教委の委員とは兼務か?

小 兼務はしていない。

○ 報酬は?

小 費用弁償である。

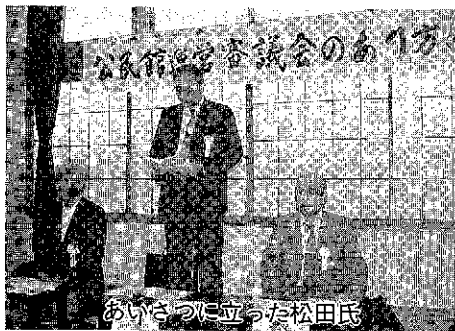
○ 諮問の方法については?

小 特に文書による形式にはこだわらない。会議の中で口頭で諮問することが多い。

協議の概略

一、公運審委と社教委の兼務問題について

1、社会教育施設は公民館のみという小規模町村の場合などは、兼務のほうが実際に即しているという見解が半数近くあった。



あいらつに立った松田氏

2、両者の設置目的はそれぞれ異なっているのだから、あくまでも別にすべきだ、という意見も約半数。

3、公運審の委員代表という立場から社教委の三号委員になるのが効果的だとして、それにより成功した事例が発表されていた。

4、社教委の委員を公運審の委員にあてる町村がままあるがこれは間違っていないか、という質問もあった。

以上で大別される意見が述べられた。このうち、1と2の意見について司会者により挙手により問うたところ、2の兼務を否とする意見が主流を占めていた。

助言

両委員の設置は歴史的にも、公運審の方が先に存在したと、法律の上でも「公民館運営審議会委員をもって社会教育委員に充てることができる」となっていることから、まず公運審がおかれるのが先であり、兼務しないことが建て前である。しかし、町村の規模や社会教育の条件などから、あまり四角四面に受けとめなくともいいのではないかと思う。ただし、兼務だからといって公運審としての役割をいいかげんにすることは許されない。

二、公運審の役割や任務の自覚について

1、役割は?

諮問機関なのだから諮問に對して審議することが第一。そのためには、住民の実情を知ることが必要、小須戸町ではアンテナ役という表現をしていた。1号委員は学校長だから、学社の連携問題や、学校施設の利用などについて、2号委員は、団体と公民館連絡調整役を、3号委員は、公民館事業の参加者や地域住民のいろいろな意見を把握するようになっている。

2、活性化の方法

○ 公運審の会議が事務的・形式的に流れてしまつて、公民館が当面している切実な問題や課題について十分な討議をしていないのではないか。

その点、小須戸町の次期会議資料を三週間前に委員に送付するということは効果的なことだと思ふし、敬意を表する。

○ 公民館の立場からは、審議してほしい内容が山積しているも報酬の問題が絡み、審議の時間や回数を増すわけにはいかないがどうしたらよいか。

○ そういう時にはボランティアの立場に立つて、会合を増やしてでも公運審の積極的な役割を果たそう。そうすることが公民館の活性化につながり、実績を示すことになると思う。

○ 公運審の会議を開くことが、公民館の職員に負担を強い

特集 続公運審

研公口フ関

ることから、職員に審議会を教遠する傾向を持つ。よって、なるべく審議資料を委員自ら整理するか、職員と委員の親密な交流コミュニケーションを深めて一体感を持つ必要がある。

○ 小須戸町の発表で委員に若い人がいないのが問題点だと言っていたがそれは大事なことだ。若い人たちの活力に富んだ考えを公民館に反映する必要がある。さらに、女性委員も是非必要であり、忘れてならないことである。

助言

1、最初に小須戸町の公運審委

員の皆さんに敬意を表します。その第一は、運審の活性化について委員自ら問題を提起したことです。第二は、公民館がそれに応えていること。3週間前に資料を提示するという事はなかなかできないことです。

2、公運審に関する法律をよく知ってほしい。たとえば、公民館長の選任にあたっては運審の意見を聞くことになっていきますが、果たしてどれだけ実施しているでしょうか。こういう法律は他の教育関係の法にはないものです。この点を運審の委員の皆さんがまずきちんと受けとめてください。そして、生かして

公運審部会に参加して

関谷之治

小須戸町公運審副委員長の長井氏から「公運審の活性化」という極めて今日的な課題に取り組んだ実践発表があり、八十名余りの参加者が熱心に傾聴していた姿が印象的であった。

例えば委員の報酬額、会議の回数、委員の平均年齢、各号委員の選出方法や人数、諮問の回数や形式など多岐にわたり、実質二時間ほどの協議時間の大半をこれらの情報交換のために割かざるを得なかったが、これも関プロ集会だからであろう。

協議の過程で出された幾つかの重要な問題―公運審委員と社会教育委員との兼任の是非、行政と公運審の望ましい関係、公運審の役割など、実践例を出し

あいながらの研究はさすがに関プロ

最後に、小須戸町の公運審の活性化を公運審の委員自身の力で成功させたことを高く評価されていたが、私も同感であり、学ぶことも多く有益であった。

(加茂市公運審委員)



発表を傾聴する参加者

ください。

また、運審の制度は法律のうえでも基盤のあるものですが、おおいに活かす努力を館の内外でしなければなりません。

3、運審の委員は、住民と公民館とのパイプ役とか橋渡し役だと言いますが、果たして住民は公運審の制度を知っていますか、審議会の構成メンバーは誰と誰なのか知っていますか。かくいう私も公民館から離れた現在、どういふ方が委員になつていられるのかよく分かりません。市の広報紙に格別大きな活字で紹介するなど工夫する必要がありますね。

4、報酬についての問題ができましたが、自分たちの報酬が安いのか高いのかということは言いにくいものです。しかし、同じ

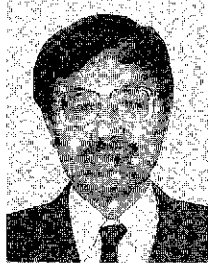
市町村での他の同種の委員の報酬と比較しての低い低いなら問題にできると思いますが、必ずとおることです。

5、館長の諮問機関についてですが、諮問は形式に促される必要はありません。紙のうえで、文字によって諮問しなくともいいでしょう。実質的に広く考えてほしいものです。

6、委員の構成についても、発言の通り大切なことです。

7、運審の委員の皆さんと、館長職員を含めて、「公民館の設置運営について(昭和21年次官通牒)」、「公民館のあるべき姿と今日の指標」(昭和43年全公運)、「生涯教育時代に即応した公民館のあり方(昭和59年全公運第5次専門委員会)」について一絡に読む会を開催することをお薦めします。そして、共通理解の中から「われらの公民館は……?」と問題点や、解決の方途などをじっくりと話し合う機会を持つことをお薦めします。

8、最後に、公運審委員と非常勤の館長さんとは地域の良識を代表する方々です。生涯教育時代に公民館はどうあるべきなのか、公民館の歴史をどう継承発展すべきなのか、ともに考えてがんばってください。



関谷之治氏

ゆとりこそ無事につながる道しるべ

(新潟県・市町村交通安全対策協議会)

実践記録シリーズ

(30)

十二年続いている長寿大学 感動を誘った意見発表会

朝日村公民館

一、はじめに

「みどりの里」づくりをキャッチフレーズに村の活性化に取り組んでいる朝日村は、県北の人口一万三千人の農村。面積は全国でも五指に入る広さとか。この村でも過疎化と高齢化が課題のようである。



意見発表会を誘った感動



長寿大学の沿革と特色

者を抱え、村行政では高齢者施策に多くの比重を置いている。公民館でも高齢者への事業が大きな位置を占めており、その目玉事業が「長寿大学」である。

二、長寿大学の沿革と特色

長寿大学は昭和五十二年に開設されたことから十二年続いているロングランの事業。開設の当初は講義の聴講のみであっ

たらしいが、クラブ活動を取り入れたら、文集づくりや意見発表会を設けるなどのアイデアにより、現在も活発に運営されている。

三、意見発表会

長寿大学は学生代表五人(旧村代表)の運営委員によって自主運営をしている。新学期五月の開学式の時に意見発表のテーマの設定や、原稿提出期日を公表して取り組む。ちなみに、今年度のテーマは「わたしの生きがいー私の工夫、そして提言」で、二十二名の原稿が提出された。それらは冊子にまとめられ全学生に配布している。その中から六名の学生の作品が選ばれ、去る二月十七日の意見発表会で二百名近い出席学生の前で実に堂々と発表していた。

その中で、I氏は、趣味に生きるだけが老人の生きがいではない。社会に役立つボランティア活動がより一層の生きがいであり、充実した生活が送れると

昭和63年度 長寿大学年間学習計画 朝日村公民館

開設の趣旨、主題、目標、(省略)

回	月・日	主題(領域)	方法	内容・講師
1	5・27 (金)	1.開講式 2.記念講演「山の彼方の宅業(幸い住む人とのいう)(家庭生活)」	式典 講演	新潟県立朝日村公民館 渡辺 豊氏
2	6・22 (水)	1.「老人福祉施設の中からは高齢化社会」(老人福祉) 2.クラブ活動(1)	講義	老人福祉施設の現状と高齢者の生き方を語る 岩崎社会福祉事務所 高橋 邦 島崎 氏
3	7・21 ~22	1.修学旅行	バス旅行 (1泊2日)	
4	8・5 (水)	1.「神も仏もいるもんか」(生活と宗教) 2.クラブ活動(2)	講義	「現世利益」信仰によって得られるか、信理の本質を探る
5	9・14 (水)	1.大運動会	演技	運動会を通してストレス解消 健康増進に努める
6	10・14 (金)	1.「豊産物が自由化されたら「緑の里」はつぶれるか」(世の中の動き) 2.クラブ活動(3)	講義	牛肉・オレンジそして米などの農産物自由化の現状の中で朝日村の農業のあり方を考える 朝日村農業委員会 島崎 邦 新司氏
7	11・16 (水)	1.「イノホヤと共に50年」(一般教養) 2.クラブ活動(4)	講義	村上特産物のいる、いとと、そらにまつわるエピソードを聞く 村上市 吉川 直氏
8	12・14 (金)	1.「緑の里にみどりの健康を築きましょう」(健康生活) 2.クラブ活動(5)	講義 映画	朝日村民の健康増進ーその現状と課題を考える 保健衛生課長大橋 光雄氏
9	2・17 (金)	1.「私も一言、私の生きがい、あなたの生きがい、そしてもう一言、高齢者の生き方を。」 2.クラブ活動(6)	意見発表 と講評	高齢者の生の生きがいはどこにあるか、そして、高齢者の生き方はどうあるべきかを共に考える 朝日新聞記者 原藤 邦夫氏 平成元年の朝日村公民館開設5周年を祝う
10	3・8 (水)	1.終了式 2.村誌講演 3.懇親会	式典 和	

して、民謡愛好会による福祉施設訪問のボランティア活動により心の通いあいつた喜びを発表していた。また、Sさんは、ご主人を交通事故で亡くされ、その悲しみの癒えないうちに長男を突然の病気で亡くされ、一時は半狂乱になりながらも、周囲の仲間を支えられてその苦しみから立直った経緯を発表していた。六十三歳になってバイクの免許をとるなど別人のようにまことにたくましい生き方をしてる学生もいた。

四、クラブ活動

文芸、詩吟、生け花、着付け、民謡など十のクラブに分かれ自

五、おわりに

主運営によるクラブ活動が活発に展開されていた。なお、このクラブ活動の指導講師はすべて仲間の学生によってなされている点が特色といえよう。

案内してくれた鈴木主事は、「こんなふうに、この長寿大学が好評を博しているのはうれしいのですが全村一会場というところに問題があるんです。何しろ十五軒も離れている集落もあるし、各地に大小の集落が散在しているため、入学を希望しても通学できない高齢者もいるんです。分校を作るかどうかなど検討中です」と語ってくれた。

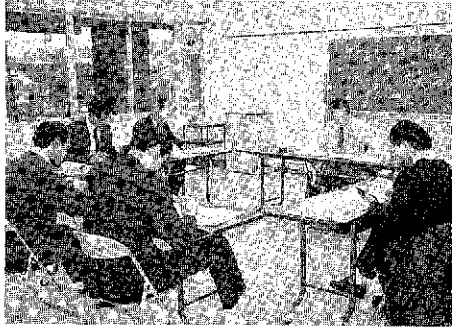
(上村記)

加茂市の公運審の場合

二月七日午後四時、加茂市公民館では、公民館運営審議会の専門部長会議を開会中だった。三人の部長と公民館長及び二人の職員計六人で真しな意見が交換されていた。

「運営の部会は手弁当でも会議の日数を増やさなければならぬのではないか……」というショックな発言も出ていた。このような委員の発言をうながす背景は次のような実態があつたことである。

加茂市では、今年の日下事業として教育委員会はもちろん、一般行政部門も傘下に入れて生涯学習体系への移行を志向して推進体制の見討中。つい先だっ



ても市長を先頭にしての研修を終わつたばかりの由。

公民館もこの推進体制の中にあるのはいうまでもない。公民館の位置づけ・役割など、推進体制づくりの力を入れている。従前から実施してきた事業の見直しやら、全体構想の中での整合性に関する問題など多くの課題を抱えていた。したがって、公運審への諮問事項も多くなつて

いるのが実情のようだ。加茂市の公運審は委員総数十八名が三部門(学習部会・情報部会・研修部会)に分かれ専門部を構成し、諮問事項を専門的に調査審議する仕組みになつて

いるものである。なお、年間の会議回数は六回の由。この日の専門部長会議は、「今後の各部会の進め方について」をテーマにしての意見の交換にあつた。聞くほどに、さすがは伝統ある加茂市公民館の運営の活動であると敬意を表さずにはおれない会議内容であつた。以下、その恐れいっただ部分を紹介しよう。

学習部会長が提示した資料(諮問事項への部会で考察した内容を、簡潔的に整理した資料)を見ながら、

「これだけの内容を審議するには、年間六回の会議ではとてもだめだ、全部部会にしてみたらいいと……」

「全部を部会にするわけにはいかない。他の部会の審議内容も聞く必要がある」

「とすれば、会議回数を増やさずしかない。館は、予算がないからだめだというだろうから、手弁当で部会を持つのはどうか」

「部会なら手弁当も可能なのではないかな」

ここで公民館長が意見をさしはさみ、部会を手弁当で開催してもらおうのは大変ありがたい。しかし、それを、制度化するわけにはいかないから、年間六回の会議では、各会とも、前半部会・後半全体会として会議を運営し、その中間の会議は各部に一任するという方式でお願いしたい」ということに話はまとまったようだ。

この円滑な意見交換の中から公運審の委員の真しさと、公民館側との信頼関係にあるスムーズな運営の肌あひを感じとつた。関プロの研究集会では、多くの市町村での公運審委員に関する問題点の指摘があつたが加茂市の場合にはあてはまらないスムーズさを感じたものである。

さすがは伝統ある加茂市の公民館である。(上村記)

加茂市公民館主事

小林 憲雄 (36歳)

閉庁後でも居残つて、納得がいくまで仕事をすするファイトマンの彼は、ワミプロ打ちで学習プログラムや要項作りを精を出している。

「心の通う公民館づくり」をモットーとして今年で三年目に入った。彼は一八三センチを越える長身の体だが気持の方はいたって優しく、しかも誠実であるから多くの人に好かれて、公民



館に活気をもたらしてきた。熱烈な恋愛で結ばれた奥さんとの間に二人の愛児がいる。子供は率先して夫婦で参加し、自らお手本を示している。更にまた子供工作教室では体にも似せた大声を張り上げながら子供等とともに、木工細工や紙細工に取り組み、小刀やハサミの使い方を学んだり、友達づくりの活動に精を出し、子供達から背高おじさんとして慕われている。(加茂市公民館主事 荒井 勉記)

素顔拜見

浦川原村中央公民館主事

西山喜美江さん (35歳)

西山さんは困保七年、老人医療関係二年、公民館三年の中堅職員。歌手の阿倍律子さんにちょっと似ているところが印象的な人。多分歌も上手に違いなほど勝手に想像しながらのインタビュー。

「公民館職員としてどんなことを心がけていますか……?」
「できるだけ、村の行事に参加するようになっています。日曜日でも時間があればお茶呑み」
「をしたい。それが、住民の心を知る根本だと思いますし、心を

開いてもらう基本だと思つていますから……」



「職場での問題」
「公民館の活動には女性の参加が多い。でも、担当は私ひとりなので心細いこともありませう。でも、女は女の立場でがんばりたい……」と力をこめて話してくださいました。
彼の女の話し好きの性格が、本領を発揮することだろう。(新潟市鳥屋野地区公民館 社教主事 伊田千代子記)



随想「十六階の窓から」

県庁十六階、社会教育課に勤務し、公民館担当の立場から(主として運営関係で)皆様方といろいろな形で接してきて感じたことをいくつか述べてみたい。

◎生涯学習時代の幕開けを迎え、公民館はどのような変化、学習要求の多様化に対応できる質の高い公教育を行う公民館に、脱皮することが望まれている。

一、そのためには人的体制の整備が第一。「人づくりは人」ということである。公民館職員は教育機関の専門職員に該当するものであるにもかかわらず、兼務が多い。その上、近年、市町村の人事交流が盛んになり、短期間で異動が行われている。そのことが、専門性を高めるための長期研修が定着しなかつたり、例年通りの事業をこなすことに追われ、よりよいものを求める職員やる気を、阻害する要因となっているのではないかと。

私がお会いした方々は皆、公民館のあり方を真剣に考え、情熱を燃やして活動に取り組んで

おられ、敬服しているもの、県下全体から湧きあがる大きな熱気のうねりが感じられないのは、十六階の窓が高すぎるからだろうか。

二、もう一つは、公民館を教育施設として実態のあるものにしてほしいということである。法で求める最小限の条件すら満たされず、形ばかり、名ばかりのものが私の予想を超えている。

これらを解決する大きな手がかりは、市町村長や議員の理解を深めることにある。したがって、公民館活動の土俵に登場する場面を、積極的に設ける担当者者の熱意も大切である。

◎公民館の役割は「あつまる」「まなぶ」「つなぐ」の三つであることは周知のことである。つなぐ機能が弱くなっている現代社会では「つなぐ(つながる)」という役割に力を入れていくべきであろう。自分の学んだものを活用して、他と協力し、地域の生活をより豊かにする何かを、創り出す活動へと、もっていくということである。生涯学習センターとしての存在を求められているのもここに意義があるからである。

◎県公連もまたこの「つなぐ」という役割をもって、市町村公民館を会員とする一つの組織であろう。情報の収集と提供、職員の研修と交流の場の設定など、今後とも力を入れていかねばならないと思う。

日頃の皆様方の御苦労に感謝しつつ、なお一層の努力による発展を期待するものである。妄言多謝。

(県教育庁社会教育工事 洪谷 孜)

あながき

◎いつも公民館報・市町村広報等のご惠贈を感謝します。正月

以来贈られたものを紹介し、お礼にかえさせていただきます。

○文芸にいがた(新潟市中央公民館) 文芸さんぼく(山北町公民館) やまなみ(牧村山脈短歌会) 社会教育研究紀要(上越地区社教委連・社報主事会)

○館報雪国(湯沢町公) しおざわ(塩沢町公) 公民館報守門(守門村公) 広報やまと(大和町公) 館報ほりのうち(堀之内町公) 新生(入広瀬村公) 小須戸公民館報(小須戸町中央公) 公民館報さんぼく(山北町公) 館報はもち(羽茂町公)

○広報つばめ(燕市) 広報せきかわ(関川村) 広報いわむら(岩室村) 広報かめだ(亀田町) まちだよりよしだ(吉田町) 広報つなん(津南町) 広報ひろかみ(広神村) ぶんすい(分水町) 広報ゆのたに(湯之谷村)

以上三月八日現在(上村記)

フィルムフォーラムはいかが? 16mm映画フィルム・ビデオテープの無償貸出しサービス

新潟県貯蓄推進委員会

資料紹介



新潟県貯蓄推進委員会は、16ミリ映画フィルム、ビデオの無償貸出しを行っています。

目録の主なもの

- 幸せづくり 34分
- お年寄りを狙う悪徳 26分
- 20才の旅路 36分
- みんなで作った虹のつり橋 アニメ 21分

他に数本在庫

再録ビデオテープ

- 危険! これが原野 商法

フィルム送料は、返送料のみ利用者負担。電話で申し込みにより「フィルム借用申込書」が届けられる由。詳細目録等は左記へ申込み下さい。

新潟県貯蓄推進委員会(新潟市寄居町三四四日本銀行新潟支店内) 電話(五三三)三〇一

発行所 新潟県公民館連合会
 【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
 【電話・新潟(025)224-6073】

発行人 会長 木下 清 一
 編集人 事務局長 上村 捨二郎
 【定価1部120円 年共・年極1,440円】